



平成 28 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 **ゲンゼ株式会社**
代 表 者 名 代表取締役社長 児玉 和
(コード：3002、東証第1部)
本 社 所 在 地 大阪市北区梅田2丁目5番25号
問 合 せ 先 広報IR室長 小倉 誠
(TEL. 06-6348-1314)

営業外費用の計上に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日）において、下記のとおりデリバティブ評価損および為替差損を営業外費用に計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. デリバティブ評価損の計上について

当社は、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、将来の為替変動リスクをヘッジする目的で行っております通貨オプション取引に起因するデリバティブ評価損として、5,030 百万円を営業外費用に計上いたしました。このうち 4,660 百万円は第 1 四半期連結会計期間に計上済みであり、第 2 四半期連結会計期間における計上額は 370 百万円であります。

なお、デリバティブ評価損益については、平成 29 年 3 月期の各四半期末の状況によって変動いたします。

2. 為替差損の計上について

昨今の為替相場の変動により、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、為替差損 750 百万円を営業外費用に計上いたしました。このうち 478 百万円は第 1 四半期連結会計期間において計上済みであり、第 2 四半期連結会計期間における計上額は 271 百万円であります。

上記の金額は、主に当社グループが保有する外貨建債権・債務を当第 2 四半期末時点の為替相場で評価替えしたことにより生じたものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

3. 業績に与える影響

上記営業外費用（デリバティブ評価損および為替差損）の計上による業績への影響等については、本日（平成 28 年 11 月 2 日）公表の「平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照下さい。

以 上